

平成19年7月

京都市こどもの感染症

かんせんしょう



★☆ これから流行りそうなものは…

< 去年の今頃(7月)の順位 >

順位	病気の名前	特徴, 予防法など
1位	かんせんせいいちょうえん 感染性胃腸炎	発熱, 下痢, 嘔吐などが症状。ノロウイルスが有名ですが, その他の色々なウイルスや細菌も原因となり, 何回もかかってしまうこともあります。予防のため, 手洗いや食品の十分な加熱などを心がけましょう。
2位	ヘルパンギーナ	夏かぜの一種で, 高熱とのどにできる水疱(すいほう)が特徴。原因となるウイルスが何種類もあるため, 何回もかかってしまうことがあります。予防には手洗いが大切です。
3位	おたふくかぜ りゅうこうせいじかせんえん (流行性耳下腺炎)	耳の下からあごにかけて, おたふくの顔のようにはれて痛みます。また, 熱が出ることもあります。予防接種は任意(自費)ですが, かかりつけの医療機関と相談してください。

★☆ 注意する感染症!

●●● 夏の感染症 (プール熱(咽頭結膜炎), 手足口病, ヘルパンギーナ)

・ 毎年夏に流行するウイルスによる感染症

■ **プール熱(咽頭結膜炎)** …高熱, 結膜炎, のどの痛みが特徴です。

家族の中で広がらないようにタオルを別にしましょう。

■ **手足口病** …手や足, 口の中に水疱ができることが特徴の夏かぜの一種です。

口の中が痛いときは, 口あたりのよい食べ物で栄養補給しましょう。

■ **ヘルパンギーナ** …高熱とのどにできる水疱が特徴で, 予防には手洗いが大切です。

気になる症状があるときは, かかりつけの医療機関に相談しましょう~!



★☆ 6月に流行った感染症

順位	病気の名前	推移, 特徴, 予防法など
1位	かんせんせいいちょうえん 感染性胃腸炎	6月は例年並みで, おだやかな減少傾向となっています。
2位	水ぼうそう(水痘)	全身に発しんができます。予防接種は任意(自費)ですが, 伝染力が強い病気なので, 集団生活をする場合は受けておく方が安心です。9~10月にかけて減少する傾向にあります。
3位	らんようけつせい A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	のどの痛みと発熱で始まり, 赤い発しんが全身に広がります。3~4日すると, 舌がいちごのように赤くなってぶつぶつになるいちご舌とよばれる症状が特徴で, 4~6歳での感染が多いです。今後減少する傾向にあります。

